

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2011年7月17日現在

概況 アイダホ州の2011年7月17日に終わる1週間の気象は、平年より低目の気温の少雨の気象であった。N地区の最高気温は82~86度Fであり、平均気温は平年を2~6度F下回った。同地区の1週間の降水量は0.07~0.76インチであった。SW地区の最高気温は91~100度Fであったが、平均気温は平年を1~3度F下回った。1週間の降水量は0.00~0.21インチであった。E地区では降水量は0.18~0.52インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.7日(前週:6.7日)であった。Topsoilの土壌水分は前週から変化はなかった。2011年産冬小麦は、全州の99%の圃場にて出穂し、38%が登熟期となった。N地区で播100%の冬小麦が出穂を完了した。春小麦は全体の80%が出穂(5年平均:81%)し、14%(去年同期:3%)が登熟期となった。冬小麦の作柄は多少前週より改善した。春小麦の作柄も前週より多少上がったが、昨年より低い評価が続いた。

2011年産のアイダホ州の小麦の作付け品種をClassで見ると、Soft White Common Winter Wheatが全作付面積の42.9%を占め第1位であった。昨年は37.1%であった。第2位のClassは、Hard Red Springの19.0%(昨年:21.1%)、第3位はSoft White Spring Wheatであり14.2%(昨年:15.7%)、第4位はHard Red Winter Wheatで11.9%(昨年:14.3%)であった。Common Soft White Wheat (Winter & Spring)は全作付面積の57.0%であり、昨年より増加した。Common Soft Winterの主力品種はBrundage、Club WheatはSC地区にて1,300 acres作付けられ品種はCodaである。Soft Spring Wheatの主力品種はAtturasであった。アイダホ州の小麦の作付け面積の48.8%がE地区、N地区の作付面積は全体の33.6%であった。SW地区は全体の5.6%である。

2011年7月17日現在：土壌水分(*)

		(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week		1	14	79	6
	Last week		1	14	79	6

2011年7月17日現在：冬小麦の生育状況(*)

		(%)	North	Southwest	South-Central	East	State Ave.
Headed	2011		100	100	100	98	99
	2010		99	100	100	99	99
	Ave.		100	100	100	100	100

2011年7月17日現在：冬小麦の作柄状況(*)

		(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week			1	6	15	65	13
Last week			3	8	12	65	12
Last year			NA	NA	NA	NA	NA
Irrigation water			0	0	1	26	73

2011年7月17日現在：春小麦の生育状況(*)

		(%)	North	Southwest	South-Central	East	State Ave.
Headed	2011		58	100	99	83	80
	2010		57	97	84	60	64
	Ave.		76	99	93	78	81

2011年7月17日現在：春小麦の作柄状況（*）

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	1	13	73	13
Last week	0	1	13	72	14
Last year	0	1	3	87	9

*) Source : National Agricultural Statistics Service, USDA-Idaho Field Office. Ave. means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010 crop years.

以上